

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年(2019年) 3月29日

長野地域振興局

提出区分		実績			
整理番号		2		課題区分 C	
実施機関		長野地域振興局 農政課		担当課	
事業名		観光客やインフルエンサーに向けた魅力発信 ～アフター信州DCと連携したJR長野駅でのPR(おもてなし)～		所属 長野地域振興局 農政課	
				電話 直通:026-234-9592 内線:2187	
				E-mail nagachi-nosei@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	アフター信州DCの開催によりJR長野駅に訪れるお客さまに、長野地域産の「くだもの」を観光情報とともにPRすることにより、より多くのお客さまを呼び込み、観光消費額などを増加させる。			
	現状と課題	<p>○長野地域は県下の果樹栽培の4割を占める県内有数の産地だがあまり認知されていない。</p> <p>○7月上旬から果物がリレー出荷されている地域。(全国順位は長野県の生産量)</p> <p>7月上旬～ 全国第1位の生産量を誇る「杏」が千曲市・長野市松代町から出荷。</p> <p>7月中旬～ 全国第2位の生産量を誇る「ブルーベリー」が信濃町から出荷。</p> <p>8月中旬～ 全国第1位の生産量を誇る「ネクタリン」が長野市から出荷。</p> <p>9月中旬～ 全国第1位の生産量を誇る「プルーン」が須坂市・長野市などから出荷。</p>			
	内容 (変更後の内容)	<p>○大型観光キャンペーン(信州アフターDC)を通じたJRグループと連携した情報発信</p> <p>○マスコミと連携した情報発信</p> <p>○ながの観光コンベンションビューロと連携した情報発信</p>			
	事業期間	平成30年7月1日 ～ 平成30年12月15日			
	成果目標 (成果指標)	農産物の販路・消費拡大、また観光消費額の増加			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	PR果物の購入(需用費)	JR長野駅でのPR等	372,556		
	職員旅費(旅費)	8/25東京ドーム旅費	90,240		
	PR果物輸送費(役務費)	果物郵送料	14,100		
	合 計			476,896	
事業実績・成果	事業実績	事業の成果		評価	
	<p>○大型観光キャンペーン(信州アフターDC)を通じたJRグループと連携した情報発信 JR長野駅にて4回実施(7/1、7/21、8/11、9/22)</p> <p>○マスコミと連携した情報発信 長野県観光永久大使「峰竜太」さんのラジオ番組にて2回実施(8/4、9/1)</p> <p>○ながの観光コンベンションビューロと連携した情報発信 8/25東京ドーム「巨人・阪神戦」にてPR</p> <p>○その他 信越線開業130周年に合わせた果物のPR</p>	<p>長野県を中心に首都圏や中京圏の皆さま、756,000人に向けて「長野産の果物」の情報を発信。</p>		<p><input checked="" type="radio"/> 期待以上</p> <p><input type="radio"/> 期待どおり</p> <p><input type="radio"/> やや下回る</p> <p><input type="radio"/> 期待以下</p>	
今後の方向性	引き続き、関係機関と連携し、情報発信に努める。				